

平成 30 年度第 2 回上越市高齢者見守り支援ネットワーク会議 次第

日 時：平成 30 年 8 月 23 日(木) 14 時～15 時 30 分

会 場：上越市市民プラザ 第 2 会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

(1) 今後の高齢者見守り支援について

・具体的な取組内容（案）・・・別紙

(2) その他

4 閉 会

取組の柱	取組の方向性 (第8期高齢者福祉計画書 P71に掲載)	これまでの取組・これからも続けていく取組	第1回会議後に検討した内容について	
			今後の取組を考えるに当たっての視点 (ねらい・目標など)	具体的な取組内容(案)
1. 地域での見守り活動の更なる深化	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者見守り支援ネットワーク会議構成団体による積極的な声かけ訪問などと同時に、家族との同居世帯を含め高齢者を広く対象として、地域ぐるみでの日常的な見守り活動を支援します。 ・地域で行われている見守り活動の実例を広く町内会等に紹介し、新たに見守り活動が行われる地域を増やしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○民生委員・児童委員や町内会による見守り活動 ○民生委員・児童委員、ケアマネジャー、地域包括支援センターの協力による、救急医療・災害時支援情報キットの記載支援 ○地域包括支援センターによるひとり暮らし高齢者、高齢者のみ世帯の実態把握訪問の実施 ○警察署、消防本部による緊急時対応 ○上越市社会福祉協議会による「支え合いマップ」作成を通じた地域の見守り活動の実施 ・作成町内会数…326 町内会 (443 地域) ○地域包括支援センターによる高齢者の見守りをテーマとする地域ケア会議の開催 ○避難行動要支援者支援事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯に加え、日中独居高齢者や地域包括支援センターや民生委員・児童委員の訪問を拒んでいるケースなど、地域との関わりの薄い高齢者等の孤立死の防止・対応の強化を図るため、地域ぐるみでの日常的な見守り活動の促進を図る。 ○地域包括支援センターや民生委員・児童委員など地域における見守り体制や相談先について、地域住民全体に周知を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の実情に合った見守り支援の検討の場を設ける。 ・高齢者見守り支援ネットワーク会議の構成団体である町内会、民生委員・児童委員、関係機関・団体、行政に加え、地域包括支援センターや住民組織(地域支え合い事業受託団体)等の参画を得て、地域の実情に合わせた形(28の地域自治区単位などの地域)で、見守り支援の充実について検討する場(仮称「見守り支援検討会」)を設け、それぞれ取り組んでいる見守り活動をつなぎ合わせ、より効果的な地域全体での日常的な見守り活動を促進する。 ○地域における見守りの輪(地域の力)をつなげ、広げる。 ・地域における見守り体制や相談先を記載したチラシ(別紙)を作成し、支援が必要な人への訪問時に配布して関わりの機会を作るとともに、地域での見守り意識を高めるため、各戸に配布する。 ・地域における見守り体制の協議や地区・町内会の集まりなどの機会に、元気な高齢者が支援を必要とする高齢者を支える地域づくりへの理解を深めてもらえるよう普及啓発を行う。
2. 協力事業所との連携強化	<p>高齢者等見守り協力事業所との意見交換等を通して、連携強化を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者等見守り協力事業所による見守り活動 ・登録事業所数…328 事業所 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者等見守り協力事業所による意見交換会を開催し、各事業所が取り組んでいる見守り活動や命を救えた事例、取組のノウハウ等を事業者間で共有する等により、見守り活動の実効性の向上につなげる。 ○シルバー人材センターが新たに高齢者等見守り協力事業所として登録し、意見交換会に参加することにより、見守り活動の担い手としての役割に加え、見守られる高齢者側の視点からの意見などを今後の見守り活動に役立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者等見守り協力事業所による意見交換会を開催する。 実施時期：10月 参集者：協定締結6社が選出した事業所、シルバー人材センター(新規登録) ・市の重点取組事項である高齢者見守り支援の強化についての説明 ・各事業所によるこれまでの見守り活動や命を救った事例の紹介 ・見守り活動における課題などについての意見交換 ・認知症サポーター養成講座の受講勸奨(見守り協力事業所スタッフの意識の一層の向上とスキルアップ)
3. 地域福祉の担い手としての元気な高齢者の活動推進	<p>地域住民の支え合いとして、元気な高齢者自らが地域福祉の担い手となり、地域との交流の機会を増やすなど、支援を必要とする高齢者を支える地域社会づくりにつながる取組を進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○老人クラブによる友愛訪問活動 ○地域支え合い事業(通いの場)の住民組織への委託により、地域の元気な高齢者が支援を必要とする高齢者を支える地域づくりを推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の高齢化が進展する中、元気な高齢者が支援を必要とする高齢者を支える役割を無理なく担える環境づくりを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○シルバー人材センターが新たに高齢者等見守り協力事業所として登録し、会員に対し元気な高齢者が支援を必要とする高齢者を支える地域づくりへの理解を深めてもらえるよう普及啓発しながら、認知症サポーター養成講座などの受講につなげ、地域福祉の担い手としての役割を担う。 ○老人クラブへの加入や通いの場への参加など、積極的な声掛けを行うことにより、引きこもり防止につなげる。



目指すべき方向…災害時の対応を含めたセーフティネットの深化・地域共生社会における上越市版地域包括ケアシステムの構築

地域みんなで高齢者を見守る輪を広げましょう

高齢化が進み、ひとり暮らし高齢者世帯や高齢者のみ世帯が増えています。高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域の皆さんが日常生活の中で高齢者の“異変”に気づいた時に市役所、関係機関等（緊急時には、警察・消防）へ連絡していただき、地域の皆で高齢者を見守り、支えましょう。



町内会（地域の皆さん）

見守り協力事業所等
（新聞事業者、郵便事業者
シルバー人材センターなど）

民生委員・児童委員



見守りの輪



老人クラブ

社会福祉協議会・
地域包括支援センター

高齢者の異変の例

- ① 郵便受けに新聞が2～3日分溜まっている。
- ② 前回配達した食材が、そのまま残っている。
- ③ 洗濯物が外に何日も干しっぱなしになっている。
- ④ カーテンの開閉がされていない。
- ⑤ 電気の点灯、消灯がされていない。
- ⑥ 扉が開いているが、呼びかけても返事がない。
- ⑦ 部屋から異臭がする。
- ⑧ 家から怒鳴り声や高齢者の悲鳴が聞こえる。
- ⑨ 庭や家屋の手入れがされていない。
- ⑩ 新聞、受信料、家賃等の支払いを滞納している。
- ⑪ 最近、姿を見なくなった。
- ⑫ 何となくおかしい（言動が変だ、不自然な服装）。



緊急時（例…急病等で倒れている、事件性あり等）は、**上越警察署**（電話 110）や**上越消防本部**（電話 119）へ通報してください。

緊急時以外（例…上記の“高齢者の異変の例”を参照）は、**上越市役所高齢者支援課**（電話 025-526-5111）等へ連絡してください。

○警察署 高齢者の見守り支援関係機関一覧(諏訪地区)

区分	連絡先	備考
諏訪駐在所	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	

○消防署

区分	連絡先	備考
上越南消防署 高士分遣所	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	

○地域包括支援センター

区分	連絡先	備考
高田の郷地域包括支援センター	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	地域包括支援センターは、高齢者のさまざまな相談事、健康や介護のこと、介護サービスのこと、権利を守るなどに関する総合相談窓口です。

○社会福祉協議会

区分	連絡先	備考
上越市社会福祉協議会	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	

○民生委員・児童委員

担当町内会	民生委員・児童委員名	連絡先
上真砂 杉野袋 北新保 南新保	〇〇 〇〇	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
米岡 北田中 米町	〇〇 〇〇	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
鶴町 東原 高森 諏訪	〇〇 〇〇	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

○町内会

町内会名	町内会長名	備考
上真砂	〇〇 〇〇	
杉野袋	〇〇 〇〇	
北新保	〇〇 〇〇	
南新保	〇〇 〇〇	
高森	〇〇 〇〇	
諏訪	〇〇 〇〇	
東原	〇〇 〇〇	
鶴町	〇〇 〇〇	
北田中	〇〇 〇〇	
米岡	〇〇 〇〇	
米町	〇〇 〇〇	

お問い合わせは・・・上越市高齢者見守り支援ネットワーク会議まで
 (事務局:上越市役所高齢者支援課 電話025-526-5111)
 ※上越市高齢者見守り支援ネットワーク会議は、見守り支援の在り方を検討することにより、高齢者の孤立死の防止その他高齢者の安全で安心な暮らしを支援するものです。